

その他の上位入賞者
 優秀賞＝「夜明け」円城寺哲夫（宍倉）、「日暮れ」林好勝（鉾田市）、「天候急変」佐々木一彦（鹿嶋市）、「霧の朝出漁」橋本正（戸崎）、「大漁」塚本直樹（南中学校）、休暇村協会賞＝「帰港」神野清治（土浦市）、「水揚げ」飯田宗二郎（坂）、読売新聞社賞＝「白の舞台」中嶋房徳（神奈川県）、「夕景」飯嶋清（川尻）、旅行読売出版社賞＝「秋光の湖上」浅野敏明（神奈川県）、「霞ヶ浦大橋」石橋重忠（土浦市）、土浦京成ホテル賞＝「帆引き勇壮」森平栄（坂東市）、「夕映」小林正和（小美玉市）、霞ヶ浦北浦水産加工業協同組合長賞＝「夕暮れの帆引き船」横山孝夫（高萩市）、かすみがうら市商工会長賞＝「湖上の風」笹生俊徳（山形県）【敬称略】

優秀賞・市議会議長賞



「筑波山遠望」石井正夫さん（石岡市）



「夕照の帆船」諸岡次郎さん（土浦市）

審査員特別賞・霞ヶ浦河川事務所長賞

市観光協会会長賞



「湖上遠望」木川要さん（安食）



「松舞台」齊藤一郎さん（坂）

市漁業協同組合長賞



「夕陽に染る」夕田盛利さん（鹿嶋市）

第1回

帆引き船イラストコンテストを同時開催



「蒼海の下で」井原康太さん（牛渡）

イラストで魅せる藍や紅色の風景

実行委員会は、十八年度から帆引き船のイラストコンテストを同時に開催し、広く帆引き船をアピールしていきます。第一回目となる今回は、グランプリの井原康太さんをはじめ上位三点が入賞しました。



審査員による選考の様子

立木さんからは、「帆引き船の写真は原風景を再現するようすばらしい作品がそろってきている」と講評がありました。受賞者の作品は、二月十日、十一日に土浦ウラボール内に展示され、同時に表彰式が行なわれました。

「帆引き船の勇壮な姿と霞ヶ浦の風景」をテーマに、第六回目となる霞ヶ浦帆引き船フォトコンテストが開催されました。十二月十六日に、写真家の立木寛彦さんと旅行読売出版社編集部長の沓掛博光さんを審査員に迎えて、応募総数四百二十二点の中から上位五十点の入選作品を選定しました。

上位五十点を選定



霞ヶ浦帆引き船まつり実行委員会主催

霞ヶ浦帆引き船フォトコンテスト2006

帆引き船は、「未来に残したい漁業漁村の歴史文化財産百選」として2006年2月、農林水産大臣から認定されました

最優秀賞・市長賞
（小中学生の部）



「夕暮れ」神野匡人さん（美並小学校）

最優秀賞・市長賞
（霞ヶ浦の風景の部）



「朝漁」丸森勝造さん（土浦市）

最優秀賞・茨城県知事賞（帆引き船の部）

「順風満帆」

青戸好江さん（東京都）

